

施策番号	0903		
施策名	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍		
概要	MICEの誘致・振興は，京都ブランド・都市格の向上，市民生活の活性化，経済効果など，社会的及び経済的両面において京都の都市活力を支え，向上させるものであるとともに，京都観光の質の向上に寄与することが期待され，都市戦略として全市を挙げてMICEの誘致・振興に取り組む。		
担当局・部室	産業観光局・観光MICE推進室	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関する主な分野別計画等	京都市MICE戦略2020		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	コンベンション開催件数の世界順位（位）	a	a	41	35	37	105.4%	a	1.00
2	コンベンション参加者数（人）	c	c	156,076	193,585	202,996	95.4%	b	1.00
3	コンベンション外国人参加者比率の国内順位（位）	e	b	2	1	1	-	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		c	b					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成30年度	令和元年度							令和2年度※
			評価	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1	京都は，国際会議などが盛んに開かれるMICE（企業のミーティング，企業研修旅行，国際会議，イベントなどの総称）都市になってきている。	b	b	74	252	224	51	20	621	-
				11.9%	40.6%	36.1%	8.2%	3.2%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☐ 客観指標	観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため				
	☒ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・「京都市MICE戦略2020」に基づき、京都文化交流コンベンションビューローと連携のうえ、京都の多様な魅力を活用しながら、開催支援メニューの充実、産学公連携の強化、伝統産業製品の貸出制度など、主催者が京都を選択しやすい環境を整えることで、京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る。
- ・「京都市MICE戦略2020」は令和2年度に最終年度を迎え、新たな戦略は次期観光振興計画の中で定めることから、計画策定に向けた検討を進める。

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍				
指標名	コンベンション開催件数の世界順位（位）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	7 4 6 － 2 2 5 5		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で、3箇国以上での持ち回りの開催実績があり、総勢50名以上の参加者総数、かつ定期的に開催している国際会議件数の世界順位						
2 指標の意味						
経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：国際会議協会（I C C A）「国際会議開催統計」						
4 数値						
	前回数値 平成30年	最新数値 令和元年	推移	単年度目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	41	35	6位上昇	37	平成25年実績（55位）と令和2年目標値から各年度の目標を等差的に設定（年2.86順位上昇）	105.4%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	35位 （世界）	35	令和2年	100.0%	京都市MICE戦略2020	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満						
6 基準説明						
当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高いことや景気動向にも影響を受けるため、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
	平成30	令和元	令和2			
	a	a	a			

指標名	コンベンション参加者数（人）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	7 4 6 － 2 2 5 5		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数						
2 指標の意味						
経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都開催の国際会議」、日本政府観光局（J N T O）「国際会議統計」						
4 数値						
	前回数値 平成30年	最新数値 令和元年	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	156,076	193,585	37,509人増	202,996	過去5年間の最高値	95.4%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準						
最新の数値が過去5年間の a：最高以上 b：上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：平均値以上～上中間値未満 d：下中間値（平均値と最低地の中間値）以上～平均値未満 e：下中間値未満						
6 基準説明						
各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去5年間の数値の推移で評価する。 最高値 202,996人（平成28年） 上中間値 179,568人 平均値 156,140人 下中間値 142,010人 最低値 127,879人（平成26年）						
7 評価結果						
	平成30	令和元	令和2			
	c	c	b			

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍				
指標名	コンベンション外国人参加者比率の国内順位（位）					
担当課	観光MICE推進室		連絡先	7 4 6－2 2 5 5		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で，日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した外国人比率の国内主要都市（グローバルMICE戦略都市及び強化都市7都市）順位1位の堅持						
2 指標の意味						
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：日本政府観光局（J N T O）「国際会議統計」						
4 数値						
	前回数値 平成29年	最新数値 平成30年	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	2	1	1位上昇	1	国内主要都市順位1位の堅持	-
	全国順位	中長期目標				
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	1位	1	令和2年度	-	京都市MICE戦略2 0 2 0	
5 評価基準						
最新数値が a：1位 b：2位 c：3位 d：4位 e：5位以下			当該指標については，民間部門の寄与度が比較的高く，景気動向にも影響を受けるものの，目標を上回ることとは不可能ではないため，1位をaとし，以下， bを2位 cを3位 dを4位 eを5位以下とする。			
6 基準説明						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
e	b	a				